

「統計改革推進会議最終取りまとめ」において

総務省・統計委員会に検討が求められている主な課題

○ユーザーの視点に立った統計システムの再構築と利活用促進

- ・各種データの利活用推進のための統計関連法制の見直し
- ・各府省の保有する統計等データの提供等の仕組み（ガイドラインの策定等）
- ・地方自治体・民間が保有するデータの利活用のための仕組み（パイロット的な枠組みの構築、データへのアクセス・保護・在り方全般についての検討等）
- ・統計等データの利活用の基盤の整備（データのインベントリ、オンサイト施設等）

○報告者負担の軽減と統計業務・統計行政体制の見直し・業務効率化、基盤強化

- ・統計調査の負担軽減のための新たな仕組み等（行政記録情報の統計作成への転用を可能とする仕組み、統計調査員の能力向上等）
- ・効率化の徹底による統計に関する官民コストの引下げ
- ・統計棚卸し（統計版 BPR）の実施
- ・各府省の統計機構の一体性の確保（統計委員会の調整機能の強化等）
- ・地方統計機構の活性化（統計調査事務の手法の見直し・高度化等）
- ・人材の確保・育成等に関する方針の策定、推進
- ・統計委員会の機能強化